



第4課 地域を知って生活する

第4課 ① 銀行

できることの具体例

- Ⓐ 通帳の中の口座に関する情報がわかる。
- Ⓑ 銀行のATMの画面の指示や注意書きがわかる。

チャレンジ

◎問題

I 銀行で口座を作ったときにもらった通帳に書いてある内容を確認していきます。紙の通帳ではなく、アプリで管理することも増えてきましたが、書いてある内容は変わりません。

II、III ATMの機械や画面に何が書かれているか確認します。

◎教室でのやり取り例

「通帳」「様」「普」「預」「口座」

T：銀行口座を作ったときにもらったこれは何ですか。

L1：銀行のノートです。

L2：通帳です。

L：通帳の中にどんなことが書いてありますか。

L：名前、番号。

T：そうですね。名前の最後に何と書いてありますか？ 見たことがありますか？

L：さま？

T：そうですね。これは「様」と読みます。他に何が書いてありますか。

L1：1 2 3 4 5 6 7

L2：金……番号。

* 「暗証番号」初中級：第5課「読める」

T：その番号は何の番号ですか。

L：自分の口座の番号。

T：これは、特別な口座じゃなくて、みんなが使う口座です。〈「普通」を指して〉これは？

L：ふつう？

T：そうです。これは「ふつう」と読みます。特別じゃないという意味です。



提出漢字

◎覚え方のヒントと留意点

109 「様」

ポイント①字形の問題

110 「普」

ポイント②覚え方を考える問題 ➔ 「並」第2課1

「普通の日は並の牛丼を食べます」などと覚えてもいいでしょう。

111 「預」

左の「予」(初級:第13課)は「ヨ」を表す音符です。右の「貞」は頭(大切なもの)という意味で初中級(初中級:「楽しく覚えよう1」)まで学習しています。

112 「支」

ポイント③部首・意符の問題

「又」は手の意味であることを確認します。「友」初中級:第4課、「取」初中級:第5課とつなげることもできます。

113 「額」

「各」が入っていますが、「カク」ではなく「ガク」と読む点に注意してください。共通部分が「a k u」である既習漢字「絡」「落」に触れてもいいでしょう。

114 「確」

ポイント④字形の問題 「曜」初級:第3課、「石」第1課2などで各パーツは知っていますが、「確」の右側は初めての形なので、字形に注目してもらってください。「確かめる」は送り仮名も注意が必要です。

115 「認」

「刃」はパーツとして初めて見るので、注意してください。「心」初中級:漢字のパーツと結び付けて覚えていいでしょう。

116 「硬」

「石」と「硬い」という意味はすぐに結びつくと思います。「石」第1課2で既習です。

117 「貨」

ポイント⑤字形が似ている漢字の問題 「化」は「力」の音を表す音符です。「化」は第1課1で既習です。意符「貝」は「お金」を表します。(初級:漢字のパーツ)で学習しています。

[読める] 「通帳」「振込」「口座」

「振込」は初中級:第5課「見て、わかる」で既習です。

練習1 書いてみよう

- I ①「言」が部首の漢字。「試験」「相談」「確認」全部「言う」「言語」に関係があることを確認します。
②「貢」が部首の漢字。「願書」「宿題」「預金」全部「大切な物」に関係があることを確認します。
③「石」が部首の漢字。「しっかり」「硬い物」という意味を確認します。
- II ②答えは「支店」「支社」を想定していますが、「本店」「本社」のように「本」も入れられます。

練習2 やってみよう

- II どこに何を書いたらいいかわかれれば大丈夫です。個人情報を書く必要はありません。

[解答]

- I ①A ②D ③C
II 省略

[教室でのやり取り例]

I ①

T：自分の口座にお金を入れたいとき、どのボタンを押しますか。

L：Aです。

T：どうしてAを選びましたか。何と書いてありますか。

L：「おあずけいれ」と書いてあります。「預ける」と「入れる」の漢字がありますから。

II

T：口座の情報はどんなことを知らせますか。

L：銀行の名前、支店の名前、口座番号……

T：そうですね。支店の名前はどこに書きますか。上？ 真ん中？ 下？

L：真ん中の右です。

第4課 ② 書類の記入

できることの具体例

- 書類（入学願書、奨学金申請書など）に必要事項を書くことができる。

チャレンジ

○問題

このような書類にはどんなことをよく書くか、最初に考えてもらってください。そのうえで、書類の中の漢字の意味を推測してもらい、何を書くか聞くといいでしょう。実際に記入してもいいと思います。漢字が読める人は読んでもらってもいいと思います。既習の漢字は復習として確認してください。

【解答例】 省略

◎教室でのやり取り例

「姓」

T:これから進学したい学校に出す書類を書きます。これは奨学金の申し込み書です。どこに何を書きますか。

L:名前。

T:名前ですね。名前という漢字はどこにありますか。

L:ここです。

T:この漢字は何だと思いますか。

L:セイ……?

T:そうですね。「生」のpartsがありますから、「セイ」と読みますね。これは何でしょう。

L:家族の名前?

T:はい、そうです。この「姓」は家族の名前、名字という意味です。

「記」「殿」

T:一番上の年月日のところは何の日にちを書きますか。

L:……。

T:ここに「入る」の漢字がありますね。これは……入る日?ですか?

L:書く日?

T:そうです。この入るはここに字を入れてください、書いてくださいという意味です。きにゅうと読みます。

記入する日を書きます。この「記」も「書く」「残す」という意味です。「日記」の「記」ですね。

T:では、この左の「校長」の隣の漢字の意味は何でしょう。見たことがありますか。

L:さん?さま?

T:そうですね。これは、様のように名前や役職〈難しければ言い換える〉の後ろにつける言葉です。

「どの」と読みます。書類などに書くときに使われます。

提出漢字

◎覚え方のヒントと留意点

119 「姓」

「生」の音符「セイ」を確認します。122「性」との違いも説明するといいと思います。

120 「齢」

ポイント①覚え方を考える問題 「歯」は年齢に深く関係があることを話したり、「冷」第1課4と音符が共通であることを気づいてもらうといいでしょう。 ➡「令」第14課3

121 「歳」

「才」初級：第1課

122 「性」

ポイント②字形が似ている漢字の問題

「星」第9課2

123 「府」

音符「付」が初めて出てきます。 ➔ 「府」初級：第4課コラム、「付」第4課4

124 「番」

ポイント③字形の問題

➔ 「暗証番号」初中級：第5課「読める」

126 「殿」

主に、公用文、社内文書の宛名などで用いられます。「役職名+殿」という形で使用されているようです。

練習1 書いてみよう

I 音符「セイ」「レイ」を確認してください。

練習2 やってみよう

実際に願書を書くつもりで、どこに何を書くかみんなで確認します。進学準備が行われている時期なら、本当に学習者が希望する学校の願書を使うのもいいでしょう。

学習者の進路はさまざまだと思うので、必要に応じて記入の練習をしてください。また、書類の書式もいろいろあると思います。名前については、姓名ではなく「氏名」が使われていることが多いようです。性別については、最近は問われないことも多くなってきました。そのためやってみようでは省いています。

未習の漢字や語彙は適宜紹介してください。

[解答]

省略

[教室でのやりとり例]

T：年齢はどこに書きますか。

L：こことここ？

T：そうですね。2つ「年齢」と書いてありますね。上と下、何が違いますか。

L：上は自分の年齢です。下は……

T：これは、両親やおじいさんおばあさんなどの話です。左に名前を書いて、ここに年齢を書いてください。

第4課 ③ 料金を支払う

できることの具体例

Ⓐ 公共料金や携帯電話の請求書や明細、払込書などの内容がわかる。

◎準備するといい物

(あれば) 公共料金や携帯電話の請求書や明細、払込書など

チャレンジ

◎問題

公共料金の書類です。情報が多いので、提出漢字を中心に、必要な情報が取れたらいいと思います。はじめに家賃や光熱費をどうやって払っているか（コンビニで払う？ 銀行振り込み？）、明細書をチェックしているかなど聞いてみるといいと思います。

◎教室でのやり取り例

① 「費」「等」

T：この料金は何のお金ですか。

L：ガス料金です。

T：そうですね。その下の 361 円は何ですか。

L：税金です。

T：そうです。何の税金でしょう。買い物の時と同じです。

L：消費税？

T：そうです。この漢字が消費税です。消費税のあの漢字、これは、「など」という意味です。

「とう」という読み方もあります。

*消費税（国税）+地方消費税を合わせて、「消費税等」と書いてあります

② 「基」「細」

T：1036 円は、何の料金ですか

L：……

T：これは、毎月必ず払うお金です。基本料金と言います。〈「基本」を示す〉

T：この紙には、料金について詳しいことが書いてありますね。ここを見てください。

L：めい……

T：はい、「明細」と言います。お金について詳しいことが書いてある書類です。

提出漢字

◎覚え方のヒントと留意点

127 「払」

手偏があるので、「『手』でお金を払う」などの覚え方を共有するといいでしよう。

128 「領」

ポイント①音符の問題 音符「令」（「冷」第1課4など）がありますが、この漢字は「リョウ」と読むことを確認します。

129 「収」

ポイント②字形の問題（Bは旧字）

「又」は手の意味であることを第4課1で学習しています。「手でお金を受け取る」イメージを共有するといいでしよう。

130 「受」

「又」は手の意味であることを第4課1で学習しています。「受」は上部も「爪、手」という意味があり、「手から手に受け渡す」という意味からできた漢字ということを紹介してもいいでしょう。 ➡ 「授」第16課3

132 「細」

「細い」と「糸」を結びつけて覚えるといいでしよう。「細い」「細かい」は間違えやすいので、注意を促してください。 ➡ 「絡」第1課3、「経」「続」第3課4

133 「基」

ポイント③音符の問題

基本、土台という意味と「土」を結びつけて覚えるといいでしよう。

134 「費」

ポイント④覚え方を考える問題 貝はお金を表すパート。上のパート弗は\$と形が似ているなどと紹介してもいいでしよう。 ➡ 「賃」第3課2、「貨」第4課1

練習1 書いてみよう

II ④F 「食料」も出てくるかもしれません。料金の意味ではないことを確認してください。

練習2 やってみよう

I 携帯電話の利用明細の画面です。どんなことが書かれているか読み取ります。

II 学習者がコンビニで働いていて、払い込みの受け付けをしている場面です。

【解答】

- I ①基本料 ②通話明細 ③消費税 ④コンビニで料金を支払う
II ①領収日付印の枠内に☆（3か所） ②C

【教室でのやりとり例】

- T：スタンプはどこに押しますか。
L：ここです。（3か所示す）
T：そうですね。どうしてわかりましたか。
L：ここに「印」の漢字があるので。
T：お客様に渡すのはどれですか。
L：Cです。
T：どうしてですか。
L：Cは領収書ですから。

第4課 4 図書館を利用する

できることの具体例

- Ⓐ 図書館の利用案内やお知らせの内容がわかる。

チャレンジ

◎問題

- I 利用したい図書館の館内図を見ている場面です。どこにどんな本があるか、学習者に自由に探してもらって、既習の漢字でわかることを答えると楽しいと思います。
II 図書館の受付で「利用案内」を見ている場面です。

◎教室でのやり取り例

「児」「童」「刊」

- T：ひらがなで書いてあるところがありますね。
L：はい。ここにひらがなはどうぼんと書いてあります……
T：そうですね。児童のための本です。どんな人でしょう。大人？ 子ども？
L：子ども？
T：そうですね。小学生という意味です。どちらの漢字も「子ども」という意味です。
T：〈「新刊書」を指して〉じゃ、ここにはどんな本がありますか。
L：新しい本？
T：はい。最近、新しく発売された本です。「しんかんしょ」と読みます。

提出漢字

◎覚え方のヒントと留意点

136 「付」

ポイント①音符の問題

第4課3「やってみようⅡ」で「日付」(ひづけ)を目にしています。ことば欄にはありませんが、紹介するといいと思います。 ➡ 「府」初級：第4課コラム、「府」第4課2、「符」第9課

137 「必」

ポイント②字形の問題

ポイント③送り仮名の問題

書き順は国によって違うことがあります。日本の書き方は例として示すといいでしょう。

138 「過」

「過去」初中級：第15課「読める」

141 「刊」

ポイント④字形の問題

「干」は音符（カン）です。パートとしては、「汗」第1課4、「干」第7課4に出ていますが、「カン」の読み方は未習です。

「リ」は中級では「割」第2課1が初出です。 ➡ 「別」初中級：第2課、「利」初中級：第8課

142 「児」

ポイント⑤字形の問題

練習2 やってみよう

「受付」は「受け付ける」のように動詞として使うときは送り仮名が入ります（受け付ける、受付ける）。やってみようのお知らせの中に「受付」「受け付けできない」の形で、2つ出ているので、学習者から質問があれば、違いについて話すといいでしょう。

[解答]

- ① A
- ② C
- ③ 「旅行を楽しむヒントがいっぱいの／たくさん書いてある人気の雑誌」
- ④ 必ず11月15日までに図書館の受付で申し込み。

[教室でのやりとり例]

④

T：今月のイベントは「おはなしの会」ですね。どうやって申し込みますか。

L：11月15日までに図書館の受付で申し込みます。

T : そうですね。16日に申し込むことはできますか。できませんか。

L : できません。

T : どうしてですか。

L : 15日を過ぎると受け付けできないと書いてあります。